

ジュニア部門 〈母への思いに関する作文〉

小学生部門 最優秀賞

母へのおもい

白山市立鳥越小学校

山^{やま}本^{もと}

暖^{ひなた}さん

〔応募動機及びコメント〕

しょうをもらったと聞いたときは、びっくりしました。少し時間がたつと、うれしいようなはずかしいような気持ちで、ドキドキしました。お母さんに話をすると、わたしと同じで、とてもびっくりしていました。そして、なみだをいっばい浮かべて、ないたようなわらったようなへんてこな顔で、わたしの頭をなでていただきしてくれました。このとき、しょうをとって本当にうれしいと思いました。

大すきなお母さんの事を書いた作文だから、とてもうれしいです。

お母さんのお母さんは、わたしが生れる前になくなったので、わたしは写真でしか顔を知りません。時どき、おばあちゃんのことを聞くと、目になみだをいっばいためて、

「いつも、あなたをまもってくれてるよ。」
と、少し話をただけでやめてしまいます。だから、わたしは、それ以上、話を聞くのをやめます。

お母さんは、リスとライオンに、にっています。いつも、ちょこまかちょこまか動いているし、時どき、大きくほえるからです。わたしたちがおきる前から、お父さんのおべん当や朝ごはんを作り、せんたく、わたしと弟のじゅんぴをしています。おきてからも、弟とあそんだり、ごはんを作ったりと動きまわっています。そして、おじいちゃんのリョ館の手つだいをしている時も、お客さんの相手をしたり、りょうりをしたり、すわることなく動いています。休みの日も一しよにいたいけど、
「じいじが、こまっていたらいやだよね。たすけてあげようね。」
そう言って、行ってしまいます。一しよにリョ館へ行った時でも、

「お客さんが一番。」
と言って、かまってはくれません。動いてばかりのお母さんは、すごいと思うけど、やっぱり、さみしいし、むねがくるしくてドキドキする時もあります。「わたしも一しよにいたいよ。」と思います。

三年生になってから、お母さんから手紙をもらいました。それは、
「さい近、『わたしのことすき？』ってよく聞いてくるよね。いつもママがおこってばかりだし、弟のことをゆうせんするから、ふ安になったのかな。ごめんね。ママは、し事をしている時も、どんな時でも、あなたの事を思っています。これからは、もっとだきしめるからね。」
という手紙でした。へん事は、書かなかったけど、とてもうれしかったです。その時は、うれしくて、むねが少しくなくてドキドキしました。

手紙をもらってから思いました。お母さんは、いそがしくても、食事

の時は一しよにすわって、たくさん話をしてくれます。大きな声で、
「いってらっしゃい。」

と、わたしが、見えなくなるまで、見おくってくれます。わたしが、がんばっているときは、なみだをながしたり、まわりにかまわず、おうえんしてくれまます。体がしんどくても、え顔でいてくれます。だから、きつとわたしのことを思っていてくれるのだと思いました。これからは、かまってくれなくても、前よりは、さみしくないと思います。

お母さんの口ぐせは、

「みんなが、たすけてくれるからだよ。かんしゃしようね。」
です。わたしはまた言っているなあとか思ってたけど、まわりの方がたすけてくれるから、お母さんは、みんなのために動いているのだと思います。そして、みんなに、

「ありがとう。」

を言っているから、たすけてくれるのだと思います。わたしも、これからは、もっとお手つだいをしようと思います。牛みたいにどっしりすわってられるようにしてあげたいです。

おばあちゃんのことを聞くとないてしまうお母さんは、きつと、わたしと同じでお母さんにそばにいてほしいのかなと思いました。そして、さみしいとはいわないお母さんは、強いと思います。やっぱり、ちょこまか動いてやさしいリスと、こわくて強く、まわりの人を大切にするライオンににっています。

これからは、おばあちゃんのことを聞いても、え顔でたくさん話してくれるといいなと思います。そのためにも、わたしは、お父さんやお母さんのお手つだいをしたり、弟のめんどうを見たりして、みんなに、
「ありがとう。」

と言えたらいいと思います。